

オプション ハンドブレーキ

取扱説明書

この度はサカエ製品をお買い上げくださりましてありがとうございます。
この説明書は、この製品の使い方（使用上の注意事項）について記載しています。ご使用前に、この説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、この製品を末長くご利用いただくために、この説明書は大切に保存してください。
尚、弊社では安全な製品作りを常に心がけておりますが、ご不明な点がございましたら、下記のお客様相談室までご連絡ください。



S サカエ

大阪市城東区成育5丁目22-9

フリーダイヤル
お客様相談室 0120-575101

この製品を安全に、また末長くご利用いただくために、
次の事項を必ず守って下さい。

△安全上のご注意

1. 製品の上に腰を掛けたり、乗ったりしないで下さい。転倒や転落事故の原因になります。
2. 移動時はワゴンや台車が傾かないようにゆっくり押して下さい。荷物が落ちたりして、けがをする恐れがあります。
3. 荷物が荷台よりはみ出したり、高く積み上げた状態で使用しないで下さい。
4. 傾斜地では使用しないで下さい。ワゴンや運搬車が暴走して転倒したり、人や物に当たり、けがや破損する恐れがあります。
5. 特製四輪車は運搬車であって荷置台ではありません。長時間物を置いたままにしますと、キャスターの故障の原因となり、強いては事故の原因となりますので、運搬後は必ず荷物を降ろして下さい。
6. 可動部の隙間に指を入れますと、指をはさむ恐れがありますので絶対に入れないで下さい。
7. 製品の分解・改造や部品をはずしたり、外したままで使用しないで下さい。
8. 使用中にネジやパーツのゆるみなどがガタツキが生じたときは、締め直して下さい。緩んだままで使用していると、変形や破損及び転倒の原因になります。
9. ハンドブレーキから手を離す際は、台車・ワゴンが停止していることを確認してから離して下さい。走行時には手を離さないで下さい。転倒等の事故の原因となります。
10. この製品を第三者に貸すときは、取扱方法を十分に説明し、この説明書もお渡し下さい。

◆使用上のご注意

1. この製品は、室内または屋内用です。屋外や水のかかるところでは、故障やさびの原因となりますので使用しないで下さい。
2. 直射日光の当たるところや温度・湿度の著しいところでの使用は避けて下さい。変色や変形の原因となります。
3. 製品の上にハンダゴテ等、高温になった器具類、熱い湯のみや加熱したナベ・ヤカンなどを直接置かないで下さい。
4. 製品を濡れたままにしておきますとさびの原因となります。必ず乾いたやわらかい布で拭き取って下さい。
5. 消耗部品には寿命があります。キャスター部や可動部などに、異常音等（損耗現象）が発生した場合は、購入店へご相談下さい。
6. キャスター等は床面が汚れたり、跡形が残る場合があります。
7. 特別なご使用をされる場合は、購入店へご相談下さい。
8. 製品に不具合が生じたときは、購入店へご相談下さい。

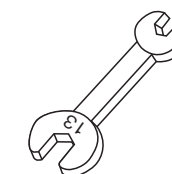
◆サカエ製品全般のお手入れのしかた

通常は乾いたやわらかい布でから拭きして下さい。
汚れが著しい場合は、次の1～3の手順を守って汚れを落として下さい。

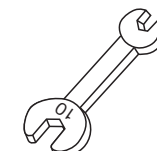
1. 薄めた中性洗剤につけた布を、かたく絞って拭いて下さい。
2. 水につけた布をよく絞って、中性洗剤が残らないように拭いて下さい。
3. 乾いたやわらかい布で、水分が残らないように拭き取って下さい。

※汚れが落ちない場合は、1～3の作業を繰り返し行って下さい。
※シンナー系の溶剤、アルカリ性の洗剤等は使用しないで下さい。
使用しますと表面材の損傷の原因となります。

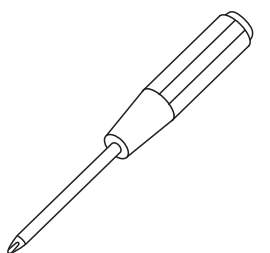
〈組立てに必要な工具〉



1. 13mmスパナ×2本
(M8ボルト用)



2. 10mmスパナ
(M6ボルト用)



3. ⊕ドライバー

番号	品名	特製四輪車用		ニューCSスーパーワゴン用			スーパーワゴン用 ステンレススーパーワゴン用		
		φ100	φ125	φ75	φ100	φ125	φ75	φ100	φ125
①	ブレーキ本体	2		2			2		
②	カラー 呼び8×4L	2	(2)	-	-	(2)	-	-	(2)
③	六角ボルト M6×12L	-	-	(2)	2	-	(2)	2	-
④	ワゴン用取手支柱	-	-	2			2		
⑤	六角穴付ボタンボルト M6×12L	-	-	4			(4)		
⑥	六角穴付ボタンボルト M8×18L	4	-	6 (4)			10		
⑦	平ワッシャ M6用	-	-	4			(4)		
⑧	平ワッシャ M8用	4	-	6 (4)			10		
⑨	フランジナット M6	-	-	2			(2)		
⑩	フランジナット M8	-	-	(4)			4		
⑪	ワゴン用取手パイプ	-	-	1			1		
⑫	六角棒レンチ 呼び4	-	-	1			1		
⑬	六角棒レンチ 呼び5	1	-	1			1		
⑭	ブレーキレバー	1	-	1			1		
⑮	ブレーキシャフト	2	-	2			2		
⑯	六角ボルト M8×40L	4	-	4			4		
⑰	カラー 呼び8×30L	4	-	4			4		
⑱	ロックナット M8	2	-	2			2		

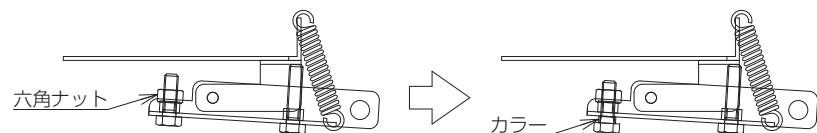
※()内は使用せず余る部品になります。

特製四輪車の場合

- ① 組み立てる前にキャスターの種類ごとに①ブレーキ本体の調整を行って下さい。

a. キャスターがφ100 ゴム車の場合

下図の六角ナットを緩め、ボルトを取り外し、②カラーを取り付けて下さい。
②カラーを取り付けたボルトとナットを元のように①ブレーキ本体に取り付けて下さい。
取り付けた六角ナットはゆるみ止めになりますので、きつく締め付けて下さい。

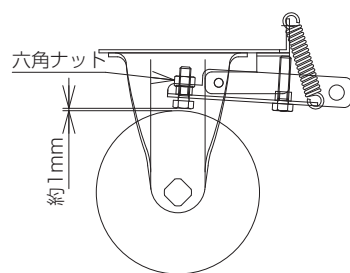


b. キャスターがφ125 ゴム車の場合

出荷時の状態のまま、②へお進みください。

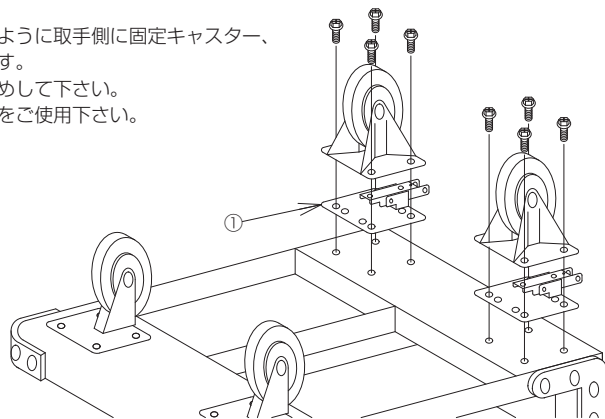
c. キャスターがφ125 ナイロンウレタン車の場合

特製四輪車の固定キャスターを取り外して下さい。
右図のようにキャスターを押さえるボルトがキャスターと1mm程度の隙間（キャスターが回るギリギリの位置）となるようにボルトの長さを調整します。右図の六角ナットを緩めてボルトの長さを調整して下さい。
最後に六角ナットをきつく締め付けて下さい。



- ② 特製四輪車のキャスターを外し、右図のように取手側に固定キャスター、

①ブレーキ本体が来るように取り付けます。
固定キャスターは取手側に寄せてビス止めして下さい。
締め付けにくい場合はプラスドライバーをご使用下さい。



特製四輪車・ワゴン共通の組立へお進み下さい。

ニューCSスーパーワゴン・スーパーワゴン・ステンレススーパーワゴンの場合

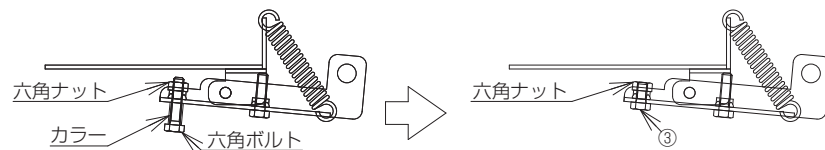
- ① 組み立てる前にキャスターの種類ごと①ブレーキ本体の調整を行って下さい。

a. キャスターがφ75 ゴム車/ナイロンウレタン車の場合

出荷時の状態のまま、②へお進みください。

b. キャスターがφ100 ゴム車/ナイロンウレタン車の場合

下図の六角ナットを緩め、ボルトとカラーを取り外して下さい。
付属している③六角ボルトM6×12Lを取り付け根元まで締め付けて下さい。
六角ナットを取り付けて緩まないようにきつく締め付けて下さい。

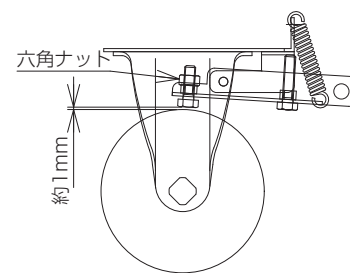


c. キャスターがφ125 ゴム車の場合

出荷時の状態のまま、②へお進みください。

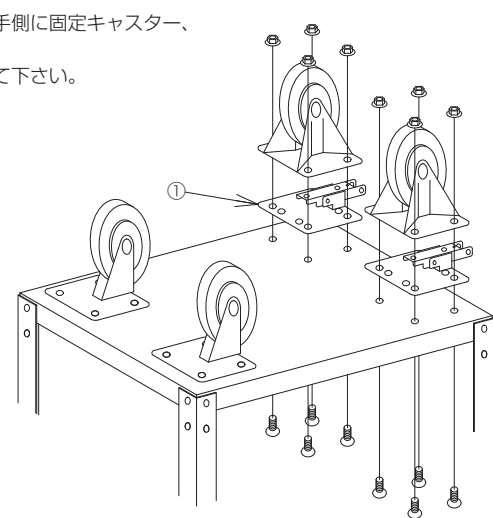
d. キャスターがφ125 ナイロンウレタン車の場合

ワゴンの固定キャスターを取り外して下さい。
右図のようにキャスターを押さえるボルトがキャスターと1mm程度の隙間（キャスターが回るギリギリの位置）となるようにボルトの長さを調整します。右図の六角ナットを緩めてボルトの長さを調整して下さい。
最後に六角ナットをきつく締め付けて下さい。



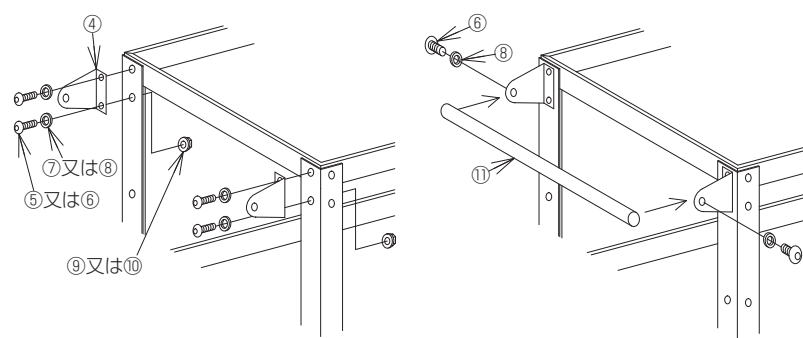
- ② ワゴンのキャスターを外し、右図のように取手側に固定キャスター、

①ブレーキ本体が来るように取り付けます。
固定キャスターは取手側に寄せてビス止めして下さい。
締め付けはプラスドライバーをご使用下さい。



- ③ 取手が付いている場合は取手を取り外し、④ワゴン用取手支柱を⑤六角穴付ボタンボルトと⑦平ワッシャ、

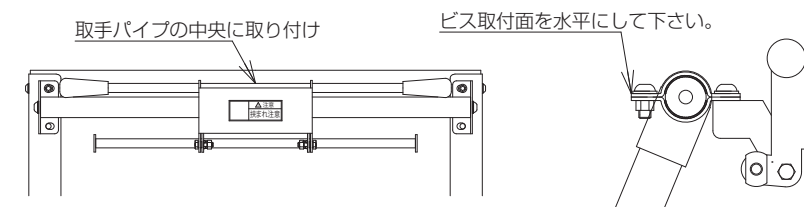
又は⑥六角穴付ボタンボルトと⑧平ワッシャで取り付けして下さい。ナットが必要な個所は⑨又は⑩のフランジナットをご使用下さい。
次に⑪ワゴン用取手パイプを⑥六角穴付ボタンボルトと⑧平ワッシャで④ワゴン用取手支柱に取り付けて下さい。
最後に付属している⑫又は⑬六角棒レンチできつく締め付けて下さい。



特製四輪車・ワゴン共通の組立へお進み下さい。

特製四輪車・ワゴン共通の組立

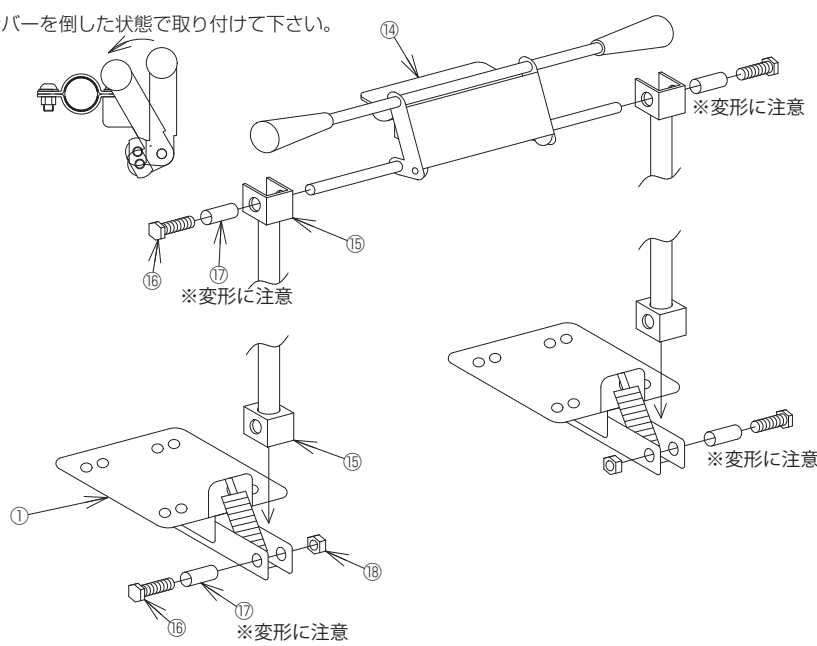
- ④ ⑭ブレーキレバーを特製四輪車、またはワゴンの取手の中央部に⑯六角穴付ボタンボルト、⑰平ワッシャを用いて仮止めて下さい。この時にビス止めをする平面が地面と水平になるように取り付けして下さい。



- ⑤ ⑮ブレーキシャフトを①ブレーキ本体に取り付けます。

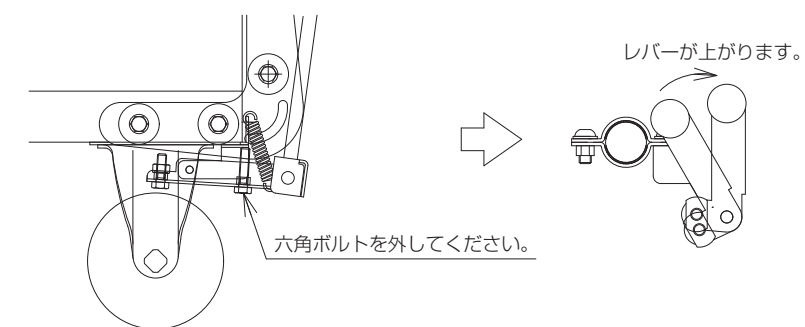
⑯六角ボルト⑰カラー⑱ロックナット用いて緩まないように締め付けて下さい。
その後、⑮ブレーキシャフトと⑭ブレーキレバーを下図のように⑯六角ボルト⑰カラーで取り付けして下さい。
⑰カラーはしっかりと貫通させて下さい。尚、ボルトをきつく締め付け過ぎると⑰カラーが変形しブレーキが上手く作動しない恐れがあります。ご注意ください。

※レバーを倒した状態で取り付けして下さい。



- ⑥ 全てのビスを緩まないようにきつく締め付けて下さい。

- ⑦ ①ブレーキ本体に取り付けられているブレーキ解除用ボルトを外して下さい。
外すと⑭ブレーキレバーが持ち上がり、ブレーキレバー操作が可能となります。



- ⑧ ⑭ブレーキレバーを操作してもブレーキが解除されない場合は一度⑥で外したブレーキ解除用ボルトを最後まで締め付けて下さい。
その後、水平に取り付けた⑭ブレーキレバーのボルトを緩め右図に従って傾け角度を調節して下さい。調整後はボルトを締めして下さい。
ブレーキがきちんと解除されるまで繰り返し行って下さい。

ブレーキ解除が良くなります。

